事業所名　ありんこキッズプラスケア

支援プログラム

作成日　R8　年　4　月　1　日

法人(事業所)理念	社会への貢献、職員の幸福、革新			
支援方針	看護師・保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士がそれぞれの専門性に特化した支援を行っています。 親御さんから離れても安心・安全に過ごせる場所を目指しています。 療育の中で様々な刺激や体験ができることを目指しています。 コミュニケーションを大切に意思表示をくみ取る方法を追及しています。			
営業時間	10 時 0 分から 17 時 30 分まで		送迎実施の有無	(あり) なし
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握と管理・医療的ケアの実施(吸引・経管栄養・与薬・気切管理・呼吸器管理) ・排泄の支援(オムツ交換・トイレ誘導・浣腸) ・リハビリテーションの実施(機能訓練) ・食事介助・水分補給		
	運動・感覚	・姿勢の管理と姿勢保持訓練(ポジショニング・安楽な姿勢の提供・座位・立位・うつぶせ姿勢での活動) ・感覚遊び(感覚の偏りに対する環境調整・様々な感覚入力の実施) ・視覚・聴覚・触覚・前庭感覚・固有受容感覚等を十分に活用できる遊びの支援		
	認知・行動	・朝の会・帰りの会(日付や名前呼びの確認・事業所へ来た事の自覚の促し・朝の歌や絵本よみや朝の体操) ・療育活動(音楽あそび・創作活動・レクリエーション)を通して必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援 ・季節ごとにイベントを開催し四季を感じること、楽しむことことを支援		
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎能力の向上(声かけによる意思表示のくみ取り・体験と言葉の意味の結び付け) ・コミュニケーション手段の選択と活用(絵カード・指差し・サイン)		
	人間関係 社会性	・他者との関わり形成 ・集団活動の参加(集団での活動を通して、自分の順番、周りの人の応援、喜びの分かち合いなどの体験を支援)		
家族支援	・当事業所での様子を丁寧に伝え、家庭での様子を聞き取り、情報を交換するとともに、親御さんの心配ごとへの助言を実施。		移行支援	・保育所等・学校への移行支援(情報提供や当事業所での様子や医療的ケアの説明・見学を実施する)
地域支援・地域連携	・地域の学校と交流しながら、子どもだけでなく、職員間の連携を図る。 ・役割分担をしながら本児の支援ができるようにします。		職員の質の向上	・支援会議の実施(毎月、意見を出し合いより良い支援を目指す) ・研修会・勉強会の実施
主な行事等	・外出行事 ・季節行事(お花見・こどもの日・プール・運動会・ハロウィン・クリスマス会・もちつき・節分・ひな祭り)			

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ありんこキッズプラスケア(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	R8年3月1日	～	R8年3月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○従業者評価実施期間	R８年３月１日	～	R８年３月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	R８年４月１日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	１か月ごとに活動や来所時の様子を通信やSNSで配信している 保護者が参加できる機会を作り、事業所での様子を見学していただいている	活動の中で積極的に写真撮影を行い、日々の様子がわかりやすくなるようにしている	今後の予定についてお伝えするものを検討する
2	看護師・保育士・療法士が連携を図りながら、医療・療育活動・リハビリを行っている チームで活動内容を決めている	医療では安全に安心して過ごしていただけるようにしている 活動では季節の行事や制作を取り入れて、四季が感じられるように工夫している 活動内容を決めるときに、目的がなにか障がい特性に合わせるように工夫している	外出や散歩などを計画して安全に実施できるようにする
3	祝日に積極的に外出している	普段なかなか行けない所へ行ったり、利用児によって好きなことや障がい特性に合わせて感じやすいことを考えて外出先を選択している	外出先での安全の確保など考えて計画を立てる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援するスペースが狭い 感染対策がとりにくい	個室の確保 体調不良時が一時的に過ごす場所の確保	体調不良時や感染リスク児を想定した環境設定の確保
2	父母会の活動の支援や、保護者会等により、保育士同志の交流の機会が設けられるなど、家族への支援の不足。	保護者同志が会話をする機会がない	保護者会の発足
3			

（別紙４）

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名	ありんこキッズプラスケア

公表日　R8年　4月　1日

利用児童数 4　　回収数 4

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1	3		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		1	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	3			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	1				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名	ありんこキッズプラスケア

公表日　R8年　4月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		・活動内容によって配置の工夫が必要なこともあると感じることもある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	パーテーションなどを活用してプライバシーや感染対策を行っている。	・感染対策やプライバシー保護の対策がとれにくい状況。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	2	5	必要に応じて個別の部屋を空けるよう工夫している。	・個室があるが休憩室・会議・面談などにも使用されているためいつでも使用できる状況ではない、個室が使用できないことがある
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・毎月の会議・日常的な会話の中で意見を出し合えているように感じる	・機会はあると思うが、改善しても長く続かないという点が気になる
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	・新人職員に対して周りの職員が丁寧に教えてくれる体制・雰囲気がある	・研修の開催はあると思うが参加できていないのでは？
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7	0	・個別支援計画に沿って支援している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		・具体的な支援方法の明確化をして評価しやすいものにした方が良いのでは？
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		・親の思いも必要だが、子どもの最善の利益とするとそうではない時もあるのではと思うこともある
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		・計画共有の機会は月１回の会議のみになっていることが多い・具体的なものが少ない、個々の技量に差があると思う
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・子どもの様子や反応の把握をしながら支援を考えていくようにしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・活動内容でうまくいかなかった改善点を次回以降の支援に活かせるよう工夫、職員同士で話しあうように努めている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・こどもの様子をみながら、個別と集団活動、制作等を支援する工夫をしている	・集団での活動はその場でできる児を集めて行っていて特別に集団活動の時間を設けるとよいと考えた
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・必ずではないが、ミーティングを２回行うように工夫している。状況によってはできていないこともある	・支援開始時間と職員の始業時間が同じため打ち合わせは児が来所後又はいないスタッフがいる中での実施になっている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・その日の振り返りはできないこともあるが翌日や気づいたときに共有する努力をしている	・当日の振り返りはできていない ・朝に前日の振り返りや気づきができたらと思う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		・検証・改善については行えていない ・職員間の共有、記録を残すなど会議での話し合いはあるが十分に改善できていない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		・計画の見直しの時期にのみ全体で行っている ・個別で実施しているかはわからない
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		・私が知らないだけかもしれないが支援方法について連携できている実感はない ・連携の充実という面では課題である
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		・一部の内容や一時的にはできていることもあるがもっと積極的に行えるといいと感じる ・連携強化をもっとしていくと良いと思う(支援につながると思うので)
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		・支援会議への参加している
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	1	6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		・交流の場はない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	6		・やっていると思うが課題について保護者の思いが全面に強く出ているのではと思う
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・案内配布を行っている	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	3		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		・学年の上の親さんの話を聞いてみたいと話を聞いたことがあります ・今後の課題とするところだと思う
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0	7		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		・職員個人では把握できるように心がけているが施設全体としての情報更新の機会はないのでできると良いと感じる
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		職員の個人差もあると思うが課題となる
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	ヒヤリハットを共有するよう工夫できている	状況的におこりやすい、ハットすること気づきに個人差が生じる
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		１年半程までに研修をうけた、定期的に更新したい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ありんこキッズプラスケア(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	R8年3月1日	～	R8年3月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○従業者評価実施期間	R８年３月１日	～	R８年３月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	R８年４月１日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	１か月ごとに活動や来所時の様子を通信やSNSで配信している 保護者が参加できる機会を作り、事業所での様子を見学していただいている	活動の中で積極的に写真撮影を行い、日々の様子がわかりやすくなるようにしている	今後の予定についてお伝えするものを検討する
2	看護師・保育士・療法士が連携を図りながら、医療・療育活動・リハビリを行っている チームで活動内容を決めている	医療では安全に安心して過ごしていただけるようにしている 活動では季節の行事や制作を取り入れて、四季が感じられるように工夫している 活動内容を決めるときに、目的がなにか障がい特性に合わせるように工夫している	外出や散歩などを計画して安全に実施できるようにする
3	祝日に積極的に外出している	普段なかなか行けない所へ行ったり、利用児によって好きなことや障がい特性に合わせて感じやすいことを考えて外出先を選択している	外出先での安全の確保など考えて計画を立てる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援するスペースが狭い 感染対策がとりにくい	個室の確保 体調不良時が一時的に過ごす場所の確保	体調不良時や感染リスク児を想定した環境設定の確保
2	父母会の活動の支援や、保護者会等により、保育士同志の交流の機会が設けられるなど、家族への支援の不足。	保護者同志が会話をする機会がない	保護者会の発足
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名	ありんこキッズプラスケアア

公表日 年月日　R8年4月1日

利用児童数 4　　回収数 4

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			2	2		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	1	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	3				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名	ありんこキッズプラスケアア

公表日 年月日　R8年4月1日

利用児童数 4　　回収数 4

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			2	2		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	1	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	3				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名	ありんこキッズプラスケア

公表日　R8年　4月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		定員数に達している日についてはスペースの確保がもう少し考慮できるように環境を整える。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0		場合によっては足りてない時もあると思う。安全面として問題がある面がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	パーテーションなどを使用しプライバシーを守りながら環境をつくる。	個別活動時の空間として気が散るなどの課題となることが多い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	パーテーションなどを使用しプライバシーを守りながら環境をつくる。個室は必要に応じて空けるようにする。	ワンフロアのみのため対応が難しい、個室があるが休憩室として会議・面談・事務作業スペースとして使用していつでも使用できない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	モニタリングや面談時に聞けているのではと思う	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		業務改善できる会議ができると良い、活動の振り返りと個別としての支援内容を検討する
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		わからない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2		人員の関係でいけないこともある
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		もう少し個別支援内容を考えたり、実施したことの評価をしていく。具体的な計画を立てていくほうが良い
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		体調面を考慮する面でも個別配慮としてもう少し具体的に作成する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	1	共有はされていると思うが具体化や誰もができるようにし記録を残す(実践したこと)	日々の支援をその日の担当スタッフが独自に行っていて計画の共有は月１回の会議で利用中の様子について確認するのみになっている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		個別・集団の計画としては不十分なことが多いと感じることが多くある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		支援開始時間と職員始業時間が同じであるため始業前に打ち合わせを行えない。打ち合わせを行う時に送迎や訪問業務のためスタッフがそろっていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3		始業時間と支援開始時間を３０分ずらして前日の振り返りと当日の具体的な打ち合わせができるとよい、振り返りの時間がない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		やれている人はできていると思うが、できていない人もいるのが実態としてあると思う
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2		選択できるような工夫の支援を行えている努力している姿が多くみられる
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		連携はしているが充実しているかは今後の課題と思うところもある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	1	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		行っていると思うが、事業所からの親交流など今後に向けてどのようにしていくか課題
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		わからない
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		体調不良時や早退時利用判断について基準を明確にすることが課題としてあるのでは？
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	1	同意は得られていると思う	わからない 内容については職員が十分に把握しているか共有がなされていないのでは？と思う
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者が相談しやすい環境を作れているとは思う	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7		学年の上の親さんの話を聞いてみたいという話を聞いたことがあります 今後の課題点である
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		わからない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		行えているが、課題点に対しての対策をあいまいのままの所があるのでは？個人で準備しておいても良いものもあると思う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		あとおいになっているところもある 職員間のリスク状況に対し個人差はある
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		作成しているが、行われたという所だけで終っていると感じる
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		はじめは意識するが、継続できないことにより繰り返すこともあると思う
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		

看護職員加配加算公表

・看護職員加配加算Ⅰ

重心型事業所において指定基準に定める看護職員に加え、常勤換算による配置により看護師1名以上配置し、医療的ケアが必要な障がい児に対して支援を行っています。